

第2章

いきいき元気に暮らすまちづくり

政策1

穏やかに暮らせる地域をつくりましょう！



施策1▶ 地域ぐるみの取組など地域福祉の充実（地域福祉・障がい者福祉）

施策2▶ 高齢者の総合的な福祉の充実と介護保険制度の運用

政策2

市民の健康と生活の安定を支援しましょう！



施策1▶ 市民の健康づくりと地域医療体制の充実（保健・医療）

施策2▶ 生活の安定を支える社会保障の充実（医療保障と国民年金）

政策

1

穏やかに暮らせる地域を
つくみましょう！

すべての市民が地域の中で、生きがいをもって、健康を保ちながら暮らせるといいですね。そのため、市民と行政が手を取りあって支え合いまちづくりを進めます。

施策 1

地域ぐるみの取組など地域福祉の充実（地域福祉・障がい者福祉）

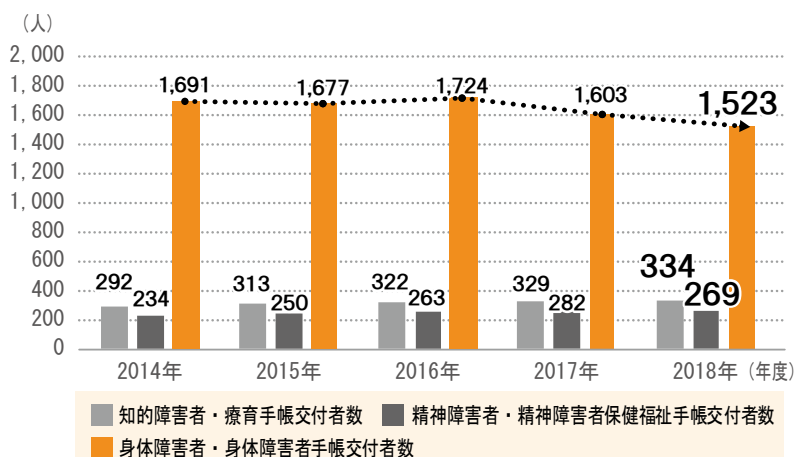
市民がそれぞれ住んでいる地域で安心して暮らすことができるよう、関係機関、地域、市民との連携のもと地域福祉の充実を図ります。

また、ノーマライゼーションの理念に基づき、障がい者福祉の充実を図り、施設整備はもとより心のバリアフリーが広がる、人にやさしいまちづくりを推進します。

さらに、自殺対策の充実により、誰も自殺に追い込まれることのないまちを目指します。

生活困窮者に対しては、適切な支援と自立に向けた相談などサポート体制の充実に努めます。

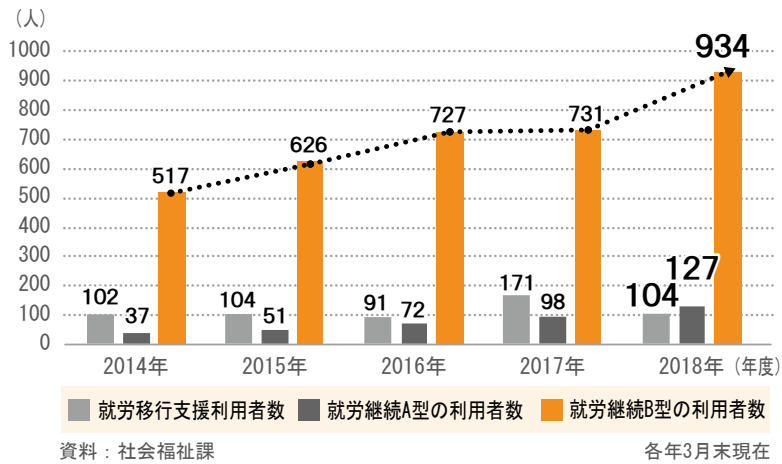
障害者手帳交付者数



各年3月末現在

身体障害者数
知的障害者数
精神障害者数は
ほぼ横ばいが
続いています。

就労支援利用者数（延べ人数）



2018年度
就労移行支援利用者数

104人

就労継続（A型・B型）

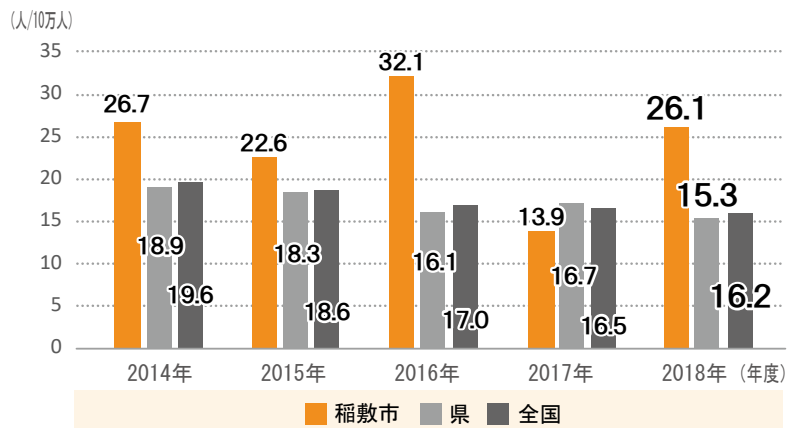
の利用者は

増加が

続いています。

UP

自殺死亡率※の推移



自殺対策計画

2018年度

策定済

自殺死亡率が全国や県と比較して高く、稲敷市は県内でもいち早く「**自殺対策計画**」を策定しています。

資料：自殺統計

※自殺死亡率：人口10万人当たりの死亡者数

具体的な取組

〔地域福祉〕

取組 ① 地域福祉推進体制の充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 「稲敷市地域福祉計画」に基づき、市民、社会福祉関係者との連携のもと、これまでの成果と課題、本市を取り巻く社会情勢を踏まえ、地域福祉サービスの充実と計画に基づいた取組を推進します。 | 社会福祉課 |
| 2 | 稲敷市社会福祉協議会を地域福祉推進体制の中核と位置づけ、地域福祉を推進します。 | 社会福祉課 |

取組 ② 地域福祉活動及びまちづくりの推進

- | | | |
|---|--|----------------|
| 1 | 稲敷市社会福祉協議会と連携し、ボランティアやNPO 団体、企業など多様な主体の参画を得て、市民と企業、行政が一体となったきめ細かな地域福祉活動を推進します。 | 社会福祉課 |
| 2 | 民生委員・児童委員等が取り組む地域福祉活動の支援及び地域の人材や組織の育成強化、人材の確保に努め、適切な福祉サービスの提供を行います。 | 社会福祉課 |
| 3 | 江戸崎福祉センターを地域福祉活動拠点として、その専門的機能を地域に開放するなど、施設の有効利用を図ります。 | 社会福祉課 |
| 4 | バリアフリー新法等に基づき高齢者や障がい者が自立した日常生活や社会生活が送れるよう、公共施設、公園、民間の商業施設などのバリアフリー化を促進するとともに、困難を自らの問題として認識し、積極的に協力する市民意識の醸成による心のバリアフリー化を図り、人にやさしい福祉のまちづくりを推進します。 | 社会福祉課 |
| 5 | 災害時に支援を必要とする要支援者（高齢者・障がい者等）については、情報伝達体制や避難支援体制の確立、福祉避難所の確保に努めます。 | 社会福祉課
高齢福祉課 |

具体的な取組

〔障がい者福祉〕

取組 ③ 障がい者福祉の充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 稲敷市障害者基本計画・稲敷市障害福祉計画・稲敷市障害児福祉計画に基づき、障がい者福祉を推進します。計画の見直しについては、制度改正や時代のニーズに適切に対応しながら進めます。 | 社会福祉課 |
| 2 | 「障害者虐待防止法」に基づき、障がい者の虐待防止と擁護者に対する支援等に努め、障がい者の権利利益の擁護を図ります。 | 社会福祉課 |

- | | | |
|---|--|-------|
| 3 | 「障害者差別解消法」に基づき、相互に共生する社会の実現に向けた啓発活動、研修による理解の促進を図ります。 | 社会福祉課 |
| 4 | 障がい者支援団体などに交流の機会を提供し、障がい者の社会参加の機会拡大を目指します。 | 社会福祉課 |

取組 ④ 障がい者支援サービスの充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 障がい者一人ひとりの障がいの種別や程度などにより必要なサービスを利用できるよう相談支援事業等の支援体制や、居宅支援サービスの充実と基盤整備に努めます。また、障がい者の生活を支え、中核的な役割を果たす組織として稲敷市地域自立支援協議会を設置し、各部会において支援体制の充実を図ります。 | 社会福祉課 |
| 2 | 発達障がいのある児童等とその家族が、豊かな地域生活を送れるように、関係機関と連携した総合的な支援ネットワークを構築し、発達障がいのある児童等とその家族からの様々な相談に応じたり、指導・助言を行う「支援センター」の設置を目指します。 | 社会福祉課 |
| 3 | 障がい者福祉の中心となる「ハートピアいなしき」の支援体制の充実に努め、「地域密着型」の通所施設としての活用を図ります。 | 社会福祉課 |
| 4 | 「ハートピアいなしき」において生活介護、就労移行支援、就労継続支援、相談支援を実施するとともに、民間団体、NPO 団体などにおいて障がい者の就労に必要な訓練の実施を推進します。 | 社会福祉課 |

具体的な取組

〔自殺対策〕

取組 ⑤ 自殺対策の強化

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 「稲敷市自殺対策計画」に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない稲敷市」を目標として地域ネットワークの構築や生きるための包括的支援を図ります。また、自殺を未然に防止するためのゲートキーパー養成講座の開催や、自殺未遂者対策の遂行及び医療や保健福祉などの関係機関との連携強化を図ることで、必要な支援につなげていきます。 | 社会福祉課 |
|---|--|-------|

具体的な取組

〔生活困窮者支援〕

取組 ⑥ 生活困窮者支援体制の充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 生活に困っている方が生活保護に至らないように、また、生活保護から脱却した人が再び生活保護に頼らなくてもすむように、専門性を有する支援員が相談を受け、自立を支援します。 | 生活福祉課 |
| 2 | 離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方には、一定期間、住居の家賃相当額を補助するなど、働くために必要な住居の確保や就労に向けた準備など状況に応じて段階的な支援を行います。 | 生活福祉課 |
| 3 | 失業や借金などの生活上の困りごとを抱えている方に、専門性を有する支援員が相談を受け、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成や関係機関へのつなぎなどを行うなど、自立に必要な家計管理能力を高めていく支援を行います。 | 生活福祉課 |
| 4 | 生活困窮世帯の子どもが生まれ育った環境によって将来を左右され、貧困が世代を超えて連鎖することがないよう、子どもと保護者の双方に、進学や高校中退防止といった学習支援だけでなく、日々の居場所づくりや生活習慣の改善、就労を含めた進路相談などの必要な支援を行います。また、すべての子ども達に等しく学習支援や居場所づくりの場を提供する民間団体やNPO法人による、学びや成長を支えるサポート体制の構築を目指します。 | 生活福祉課 |
| 5 | 「社会参加に不安がある」「コミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに就労することが困難な方に、就労に必要な基礎能力を養いながら就労に向けた支援を行います。 | 生活福祉課 |

取組 ⑦ 低所得者支援制度の活用

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 資産や能力などすべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を支援します。 | 生活福祉課 |
|---|--|-------|

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 ゲートキーパー
養成講座の参加人数

ゲートキーパーとなる人材を育成するための講座を開催し、ゲートキーパー数の増員を目指します

現況値 2018年

 44人

将来値 2023年

 100人
2 生活困窮者新規相談
支援者数

支援を必要とする方が生活保護に至らないよう、リスクの高い市民に対して積極的なアプローチを行うなど生活困窮者等の支援の充実を目指します

現況値 2018年

 90人

将来値 2023年

 100人
3 家計相談支援事業の
申込者数

生活困窮者が自らの家計を理解し、家計面から生活を再建し自立した生活を営めるよう、利用者数の増加を図ります

現況値 2018年

 49人

将来値 2023年

 60人

4 自殺死亡率

自殺対策計画に基づき、関係団体との連携と協力のもと効果的な施策を推進し、自殺者ゼロを目指します

現況値 2018年

 26.1人/10万人

将来値 2023年

 0人/10万人

関連する計画・指針など

第3次稲敷市障害者基本計画、第5期稲敷市障害福祉計画、第1期稲敷市障害児福祉計画（2018年度～2020年度）
第二次稲敷市地域福祉計画（2019年度～2023年度）
稲敷市自殺対策計画（2019年度～2023年度）

施策2 高齢者の総合的な福祉の充実と介護保険制度の運用

単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみ世帯、認知症高齢者の増加が予想されるなか、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするため、介護だけではなく、医療や予防、生活支援、住まいを包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進します。

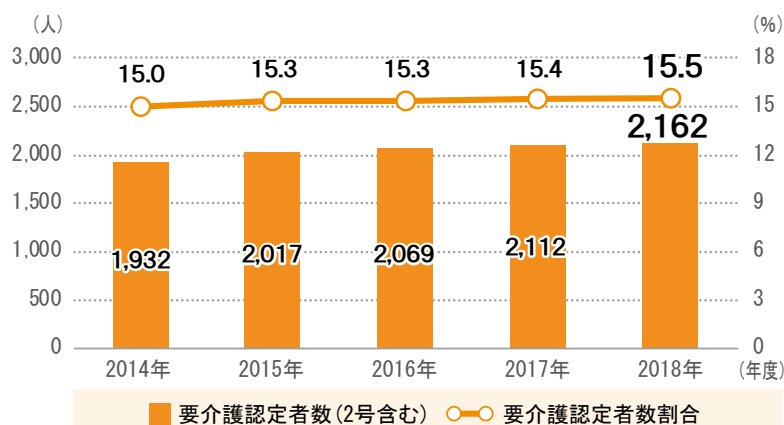
高齢者の総合的な生活の安全確保を図るため、一人ひとりのニーズに合った生活支援の充実を図るとともに、認知症高齢者対策や、高齢者の介護にあたる家族の負担軽減を図ります。

また、高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進し、ひとり暮らし高齢者の社会的孤立感の解消を目指します。

介護保険サービスの充実・強化と円滑な実施により、高齢者が住み慣れた地域で、在宅を中心とした介護を受けることができるよう取り組みます。

さらに、市民が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態等になった場合にも可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう地域支援事業の充実に努めます。

要介護認定者数（65歳以上）



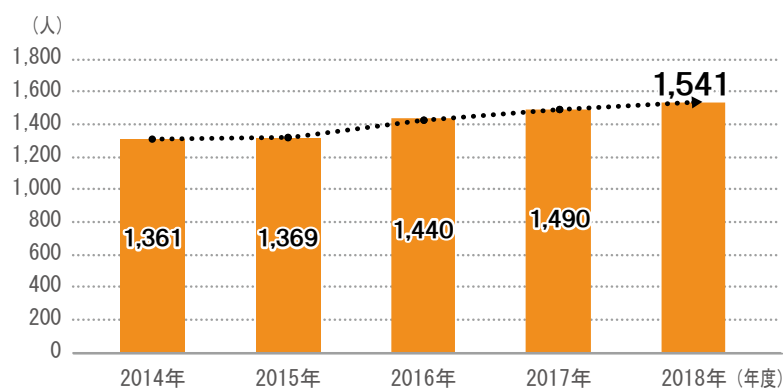
資料：高齢福祉課

各年3月末現在

2018年度
要介護認定者数
(2号含む)
2,162人

2018年度
要介護認定者数
割合
15.5%

見守りまたは支援が必要な認知症高齢者の推移



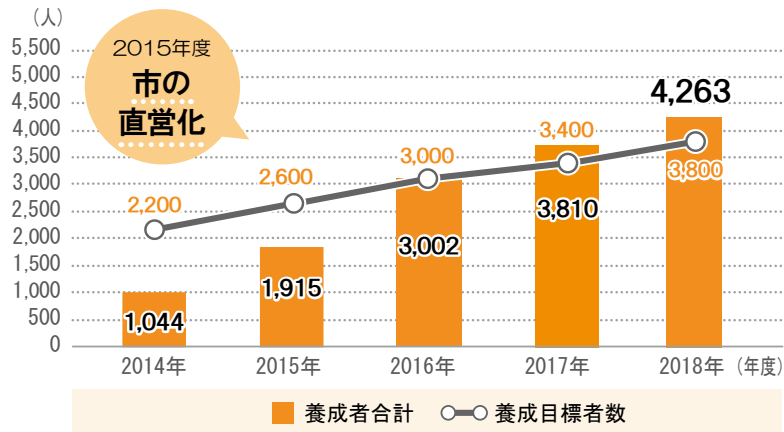
資料：高齢福祉課

各年3月末現在

2014年度以降
増加が
続いています。

UP

認知症サポーター養成者数の推移



資料：高齢福祉課

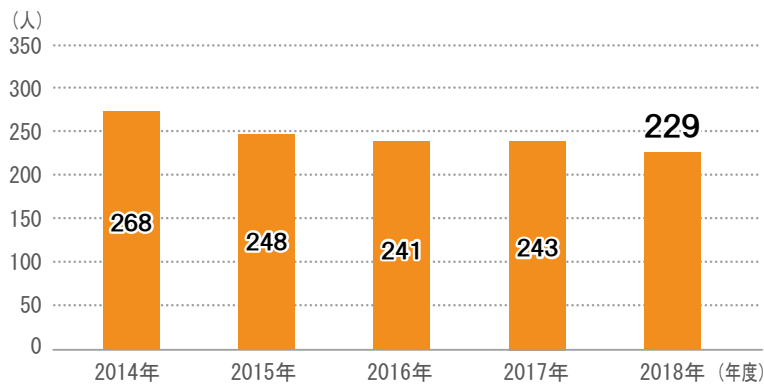
各年3月末現在

継続的に認知症サポーターを養成しており、2018年度の目標達成率は

112%

UP

シルバー人材センター登録者数



資料：高齢福祉課

各年3月末現在

高齢化が進む中で、
シルバー人材
センター登録者数は

減少が続いています。

DOWN

具体的な取組

〔高齢者福祉〕

取組 ① 生活支援サービスの充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | ひとり暮らし高齢者が地域の中で安心して暮らすことができるよう、緊急通報体制等整備事業、愛の定期便、配食サービス、訪問理美容サービスの支援、ボランティアによる安否確認などの各種サービスにより、健康保持や孤独感の解消、安否確認等を行い高齢者の生活支援の充実に努めます。 | 高齢福祉課 |
| 2 | 認知症高齢者対策として、徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業により、高齢者の保護を積極的に支援します。 | 高齢福祉課 |
| 3 | 在宅で重度の寝たきりの高齢者を常時介護している家族に対し、慰労金を支給し、介護にあたる家族の負担軽減を図ります。 | 高齢福祉課 |

取組 ② 高齢者の生きがいと健康づくり

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 高齢者の福祉に関する諸事業などの計画推進、連絡調整を行い、明るい社会づくりに貢献することを目的とした老人クラブや、老人クラブ連合会の活動を積極的に支援します。 | 高齢福祉課 |
| 2 | 市老人クラブ連合会などに委託し、各種スポーツ大会及び福祉大会等を開催します。 | 高齢福祉課 |
| 3 | シルバー人材センターなどの活用により、高齢者が定年後も多様な働き方ができるよう高齢者のライフスタイルに合わせた就労支援に努めます。 | 高齢福祉課 |
| 4 | 高齢者の社会参加を促進するため、ボランティア活動への積極的な参加を支援します。 | 高齢福祉課 |

具体的な取組

〔介護保険〕

取組 ③ 介護保険サービスの充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 適切なサービス利用への支援として、介護保険制度の内容やサービスについて周知・広報活動を推進します。 | 高齢福祉課 |
| 2 | 公平かつ適正な介護認定が実施されるよう、医療、保健、福祉分野から選ばれた審査委員で構成された介護認定審査会による認定を実施します。 | 高齢福祉課 |
| 3 | 高齢者が住み慣れた身近な地域でサービスが受けられるよう、「介護保険事業計画」を3年に一度見直し、その計画に基づいた各種サービスを適切に提供していきます。また、サービス事業所の指定や指導を行います。 | 高齢福祉課 |

取組 ④ 地域支援事業の推進

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 介護予防・日常生活支援総合事業については、要介護以外の方も含め通所型や訪問型、生活支援サービス、一般介護予防事業等の多様な事業を実施していきます。 | 高齢福祉課 |
| 2 | 地域のケアマネジメントを総合的に行うため、包括的支援事業については、地域包括支援センターの運営、在宅医療・介護連携推進、地域ケア会議の充実、認知症施策の推進、生活支援体制の整備を本市の実状に合わせて実施していきます。 | 高齢福祉課 |
| 3 | 高齢者の地域貢献と自身の介護予防を推進するため、介護支援ボランティア制度を実施し、元気でいきいきとした地域社会づくりを目指します。 | 高齢福祉課 |

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 認知症サポーターの延べ人数 認知症サポーター養成者の延べ人数の増加を目指します	現況値 2018年 延べ 4,159人 ↓ 将来値 2023年 延べ 5,800人	2 認知症初期集中支援チームの設置 早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築するために、介護や医療の専門職によるチームの配置を目指します	現況値 2018年 1 チーム ↓ 将来値 2023年 1 チーム
3 シルバーリハビリ体操教室参加者の延べ人数 市民主体の介護予防活動の拡大を目指します	現況値 2018年 延べ 13,482人 ↓ 将来値 2023年 延べ 16,000人	4 介護予防教室参加者の延べ人数 介護予防のさらなる充実を図るため、介護予防教室を開設し、参加人数の増加を目指します	現況値 2018年 延べ 4,173人 ↓ 将来値 2023年 延べ 5,000人
5 生活支援コーディネーターの配置 地域の生活支援ニーズとサービス提供団体のマッチングなどを図ったり、サービス提供団体間の連携協働を促進する生活支援コーディネーターの配置を目指します	現況値 2018年 2 人 ↓ 将来値 2023年 6 人	6 ふれあい給食事業利用者数 独居高齢者の安否確認として、月1回ボランティアにより弁当を配達します	現況値 2018年 46 人 ↓ 将来値 2023年 60 人
7 捜索協力協定締結機関数 一時的行方不明者を地域支援を得て早期に発見できるよう、関係機関とネットワークを構築します	現況値 2018年 33 件 ↓ 将来値 2023年 40 件	8 スポーツ大会等イベントへの参加者数 参加者が増えることで地域交流が広がり、さらなる活動の活性化を図ります	現況値 2018年 3,058 人 ↓ 将来値 2023年 3,500 人

指標

9 老人クラブ会員数

老人クラブの会員の増員に努めます

現況値 2018年

1,729人



将来値 2023年

1,850人

10 シルバー人材センター
会員登録者数

高齢者の増加が進む中、高齢者の就業場所を提供することはますます重要となるため、会員の増員に努めます

現況値 2018年

229人



将来値 2023年

280人

11 介護支援ボランティア
養成者数

毎年ボランティア養成講座を開催し、介護支援ボランティアの増加を目指します

現況値 2018年

71人



将来値 2023年

180人



老人クラブ運動会

政策

2

市民の健康と生活の安定を
支援しましょう！

市民が生涯にわたって日々をいきいきと過ごすためには、暮らしの安定と心身両面の健康が大切です。

そこで、市民が日々をはつらつと過ごすことができるようなまちづくりを目指します。

施策1 市民の健康づくりと地域医療体制の充実（保健・医療）

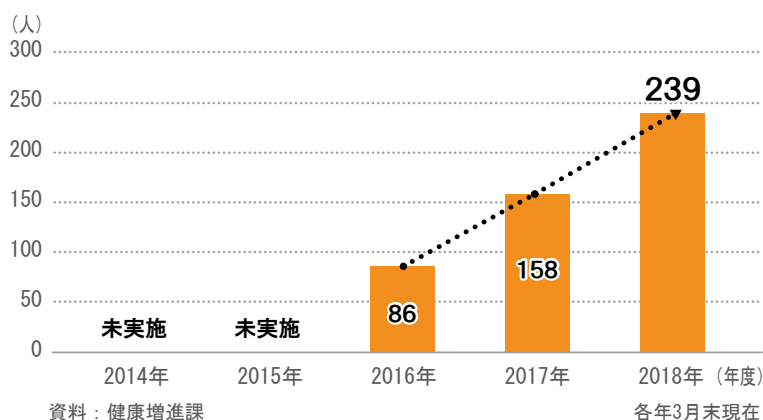
乳幼児から高齢者まで、あらゆるライフステージにおいて市民が心身ともに健やかに暮らせるよう、切れ目のない支援の充実を目指します。

保健事業においては、健康診査や、育児教室や相談などを充実させ、個々のニーズに合った支援を実施します。また、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かな生活を送れるよう、健康寿命をのばすことを目標とし、地域と密着した保健事業を推進するとともに、市民自らが主体となって健康づくりに取り組めるよう支援の充実を図ります。

新たな感染症対策においては、保健所など関係機関との連携により予防対策の普及・啓発を強化し、発生防止を図ります。

地域医療については、かかりつけ医の普及や救急医療・休日診療の充実など、市民が身近な地域でいつでも安心して医療を受けられる体制づくりを図ります。

電子母子手帳利用者

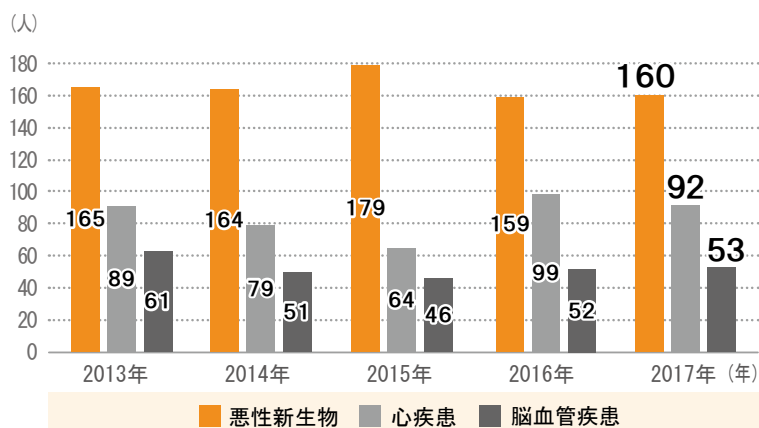


2018年度
利用者数
239人

2016年度のサービス
開始以降
増加が
続いています。

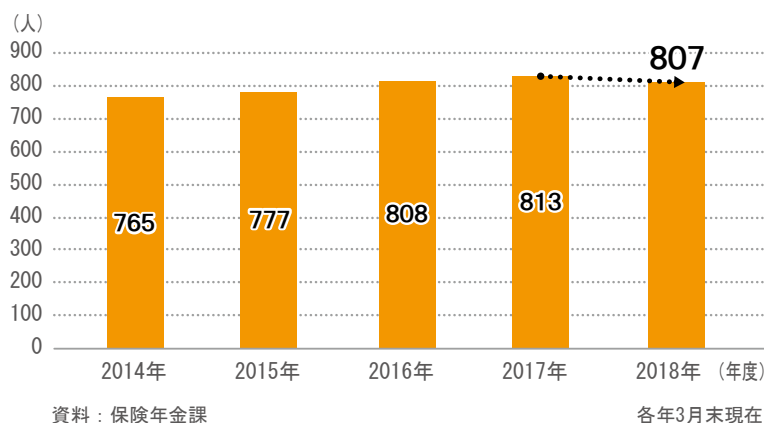
UP

死因別死亡者数（上位3位）



5年間の推移は
ほぼ横ばいの状況となっ
ています。

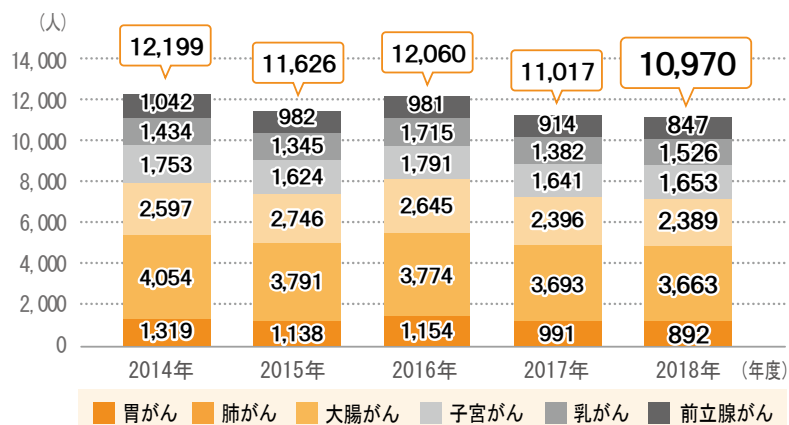
人間ドック受診者数（国民健康保険）



上昇傾向に
ありましたが
2018年度は
やや横ばいで
推移しています。

DOWN

がん検診の受診者数

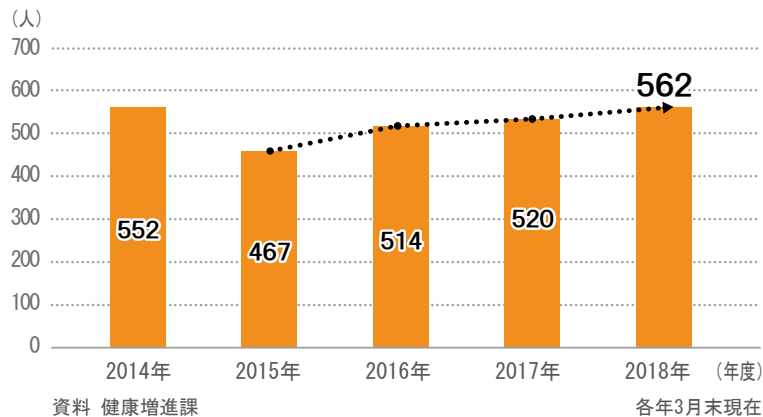


総数はほぼ横ばいの状況と
なっています。

肺がん検診者の割合が多く
なっています。近年、
乳がん検診者の
割合が**増加**
しています。

UP

献血協力者数



2015年度から
増加
が続いています。

UP

具体的な取組

取組 ① 母子保健の充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 妊産婦が住みやすい環境づくりのため、母子手帳交付時の面談やマタニティスクール、妊産婦健康診査費・妊婦歯科健診費の助成、産後ケア、電子母子手帳サービス事業の実施により妊婦の健康づくりを支援し、安心して出産が迎えられ子育てができるよう切れ目なく支援します。 | 健康増進課 |
| 2 | 乳幼児の成長に合わせた乳幼児健康診査（3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）、赤ちゃん訪問、育児教室等の保健事業を実施します。 | 健康増進課 |
| 3 | 経済的負担の軽減を図るため、不育・不妊治療（人工受精、体外受精、男性不妊治療）にかかる高額な医療費の助成を実施するとともに、未熟児または低体重児で出生した乳児の入院費の助成を実施します。 | 健康増進課 |

取組 ② 市民の健康づくり対策の推進

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 疾病や生活習慣病の予防・早期発見のため、各種検診や健康教室、相談事業などを実施し、健康づくりの体制の充実を図ります。 | 健康増進課 |
| 2 | 食育の意義や重要性の啓発に努め、健全な食習慣の実践を促すなど市民の健康づくりを推進します。 | 健康増進課
指導室（教育委員会）
農政課 |

取組 ③ 感染症対策の充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 感染症予防を目的として、定期予防接種を着実に推進するとともに、任意の予防接種費の助成を実施します。また、予防対策として、ホームページや広報紙等を活用し、感染症予防に必要な知識の普及啓発に努めます。 | 健康増進課 |
| 2 | 新型インフルエンザ等の発生に備え、必要な消毒液、マスクなどの感染症対策用品等を備蓄します。 | 健康増進課 |

取組 ④ 医療・救急体制の充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 市民が安心して医療を受けられるよう、市内及び近隣医療機関の医師の確保と医療体制の充実を働きかけていきます。 | 健康増進課 |
| 2 | 休日当番医を委託することにより、市民がいつでも安心して医療を受けられる体制を整備し、病院輪番制、小児救急輪番制により、救急医療体制の充実を図ります。 | 健康増進課 |
| 3 | 献血推進事業の実施により輸血用血液を確保し、さらに協力団体の拡充に努めます。 | 健康増進課 |

目指すこと

〔目標指標〕

指標



関連する計画・指針など

稲敷市第2次健康プラン（2018年度～2024年度）

施策2 生活の安定を支える社会保障の充実（医療保障と国民年金）

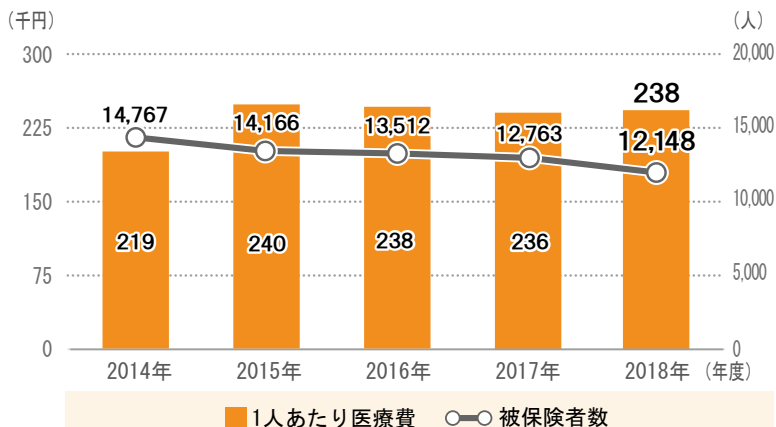
市民が医療を受ける際の経済的負担軽減を図るため、医療福祉制度の充実を図ります。

国民健康保険は、加入者が安心して医療を受けられるよう相互に助け合う制度であることから、国民健康保険制度改革の動向を見極め、この制度を支える大切な財源となる国民健康保険税の適正な賦課徴収を目指します。また、医療費の抑制と適正化を図るため、健康診査などの予防事業の充実と差額通知などジェネリック医薬品の使用促進に努めます。

後期高齢者医療制度は、制度の安定運営を図るため、後期高齢者医療広域連合との連携強化を進めるとともに、市民への周知を行います。

国民年金制度は、すべての国民を対象とした老齢、障害、死亡に関する給付を行い、健全な国民生活の維持・向上に寄与することを目的としています。市民一人ひとりが安定した老後を送れるよう国民年金制度のPRや年金相談の実施に努めます。

被保険者数および1人あたり医療費※



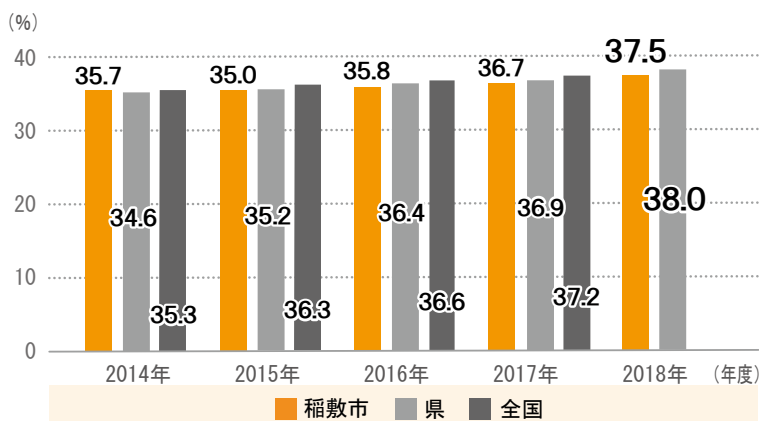
被保険者数は
減少が続いていますが、
1人あたりの医療費は
横ばいとなっています。

資料：保険年金課

各年3月末現在

※「1人あたり医療費」は保険給付費

特定健康診査受診率



特定健康診査は
生活習慣病のリスクが**高い**人
を発見するための健診です。

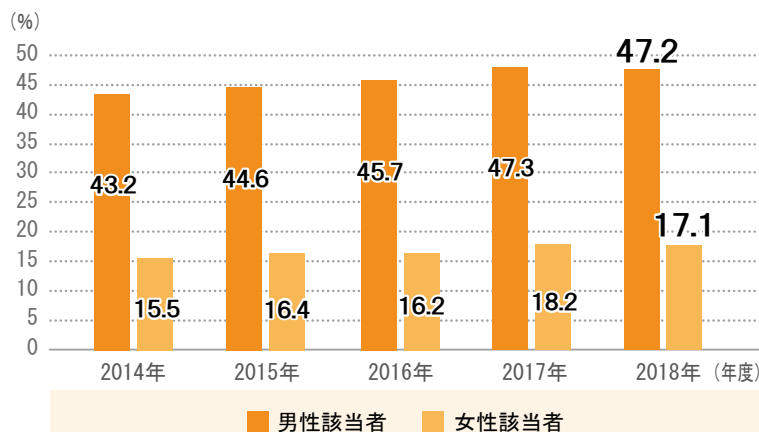
2018年度
受診率
約 **38%**

資料：保険年金課

各年3月末現在

※2018年度全国特定健康診査受診率は未公表

メタボリックシンドローム該当者数



2014年度に比べて
男性、女性ともに
増加しています。

資料：健康増進課

各年3月末現在

具体的な取組

取組 ① 医療福祉制度の充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 妊産婦、小児、母子家庭の母子、父子家庭の父子、重度心身障害者等の健康の保持増進を図るため、医療福祉制度により医療費を助成します。 | 保険年金課 |
| 2 | 妊産婦については、所得制限を撤廃し、市独自に妊娠に関連する疾病以外についても助成しており、小児も所得制限を撤廃するなど子育て世代の負担軽減を図ります。 | 保険年金課 |

取組 ② 国民健康保険制度の充実

- | | | |
|---|--|----------------|
| 1 | 国民健康保険の安定的な運営を図るため、国民健康保険税の積極的な収納に努め、収納率向上を目指します。 | 保険年金課 |
| 2 | 医療技術の高度化や様々な医薬品の開発により、医療費は近年特に増加していることから、生活習慣病に着目した特定健康診査や特定保健指導、医療機関と連携した糖尿病性腎症重症化予防事業などの予防事業の充実を図るとともに、レセプト点検等による過誤請求の発見、頻回受診の抑制やジェネリック医薬品の推奨などに取り組み、医療費の適正化に努めます。 | 保険年金課
健康増進課 |

取組 ③ 後期高齢者医療制度の充実

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 後期高齢者医療制度の安定的な運営を図るため、後期高齢者医療広域連合との連携を図りながら口座振替の勧奨等、後期高齢者医療保険料の収納率向上を目指します。 | 保険年金課 |
|---|---|-------|

取組 ④ 国民年金の加入促進

- 1 国民年金については、窓口での年金相談の実施及び広報紙による年金制度のPRによって周知を図ります。

保険年金課

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 国民健康保険税の
収納率国民健康保険税現年度課税分の
収納率の向上を目指します

現況値 2018年

93.1 %

将来値 2023年

94.0 %

2 特定健康診査受診率

特定健康診査受診率の向上を
目指します

現況値 2018年

38.0 %

将来値 2023年

60.0 %

3 後期高齢者医療保険料
の収納率後期高齢者医療保険料の収納
率の向上を目指します

現況値 2018年

98.0 %

将来値 2023年

99.0 %
以上4 ジェネリック医薬品
利用率ジェネリック医薬品（後発医
薬品）の利用促進を図り、利
用率の向上を目指します

現況値 2018年

78.3 %

将来値 2023年

80.0 %

5 特定保健指導の実施率

特定健康診査後の生活習慣病
の予防・改善のため特定保健
指導を推進します

現況値 2018年

29.3 %

将来値 2023年

40.0 %

6 メタボリックシンドローム
該当者・予備軍の出現率の減少生活習慣の改善が必要な市民に
対しては保健指導を実施し、メ
タボリックシンドローム予備軍
の出現率の減少を目指します

現況値 2018年

32.6 %

将来値 2023年

30.0 %

関連する計画・指針など

稲敷市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画（2018年度～2023年度）

稲敷市国民健康保険データヘルス計画（2018年度～2023年度）

